

平成30年1月26日

二宮町教育委員会会議録

(定例会)・臨時会)

二宮町教育委員会

- 1 開会時間 15時 00分
- 2 閉会時間 16時 30分
- 3 教育長名 府川陽一
- 4 署名委員
- 5 教育長及び出席委員

	出席	氏名
教育長	○	府川陽一
教育長 職務代理	○	吉田美佳子
委員	○	原道子
委員	○	岡野敏彦
委員	○	山内みどり

- 6 出席者氏名
- 教育部長 鐘ヶ江学
 教育総務課長 黒石徳子
 生涯学習課長 椎野文彦
 教育総務課指導班長 小笠原純二
 教育総務課指導班指導主事 永井貴幸
 教育総務課指導班指導主事 境野朋美
 教育総務課教育総務班長 竹本直昭
 教育総務課教育総務班主査 寺口瑞紀
- 7 傍聴者 1名
- 8 調製者 教育総務課教育総務班主査 寺口瑞紀

平成29年度1月定例教育委員会議録

日時：平成30年1月26日（金）

15時00分より

場所：二宮町町民センター2Aクラブ室

— 開会宣言 —

（教育長）平成29年度1月定例教育委員会議を開催します。

— 署名委員の指名 —

吉田委員を指名する。

— 教育長事務報告 —

（教育長）1月事務報告を資料に基づいて行う。

（教育部長）1月政策会議報告を資料に基づいて行う。

（各課長）各課の事業報告・事業予定について資料に基づいて説明する。

- （原委員）1月20日のコミュニティ・スクールフォーラムについてですが、実際にかかわっていらっしゃる方の意見が聞けるのはいいことだと思います。アンケート結果はまとめられるのでしょうか。
- （指導班指導主事）来月まとめたものをお配り致します。
- （原委員）1月25日に文部科学省で行われた教育委員の研修会で、教員の働き方改革についての分科会に出席しました。グループ協議でしたが、最後にどのグループからも聞かれたのは、定数の増員を求める声でした。また、教員の質の改善を求める声もあり、教員の研修を行ってほしいという内容でした。文部科学省としては、財務省に定数の増を求めています。また、定数ではありませんがスクールロイヤーという、法律の専門職を学校に置く制度もあるようです。その他の人的措置も実現しているけれど人数的に少ないので市町村はなかなか手を挙げないそうです。市町村の教育委員会で手を挙げてもらえれば、財務省に必要性が伝わるのではないかとの説明でした。また、文部科学省の担当から、市町村教育委員会は、地域や保護者に学校の先生の大変さをもっと伝えてほしいという言葉がありました。
- （教育長）学校を1つのチームとして考え、先生の負担を減らすために、地域で子どもを育てるという考えが必要になってきています。国には、要望があることを伝えることが大切だと思います。コミュニティ・スクールと合わせて、人財として、お金をかけなくても改善する方法を考えていく必要があると思います。

- （吉田委員）成人のつどいに保護者が入れるようになったということでしたが、とてもいいことだと思います。成人は、225人ということですが、保護者は何人ぐらい来場されたのでしょうか。
- （生涯学習課長）100人ぐらいです。
- （吉田委員）町外から22人の方が来たというのも、とてもいいことだと思います。
- （岡野委員）働き方改革のことですが、情報産業の改革に伴って、これからますます学ぶことは増えると思います。文部科学省は、未来の学びコンソーシアムを設立しました。学校を取り巻く地域と企業と一緒に取組んでいこうというものです。企業の力、例えば民間企業の出張授業などをうまく使っていくことも必要になると思います。そのようなことも視野に入れていくといいと思います。
- （教育長）コミュニティ・スクールの事業に一環として、企業の力も含めてゲストティーチャーという仕組みを模索していけたらいいと思います。社会に開かれた教育課程ということで、例えば今、学校ではこんなことを教えているということを知れば、地元の方など、ゲストティーチャーをすることができるよというような声を拾っていきませんかと思います。ICTについては、ITクラブの方とお会いしましたが、総合学習の時間などに、学校のニーズを大切にしながら行っていきたいと思っています。また、先生自身の研修についても考えていかなければいけないと思います。先生自身の人とつながる力を育てる、カリキュラムマネジメントが出来る先生を育てなければいけないと考えています。
- （岡野委員）参考までに、わくわくサイエンスナビというものをもちました。先生方を対象とした先端技術の体験学習です。先生方に企業の最先端の状況を体感してもらって、それを子どもたちに授業で伝えてもらうというものです。先端技術の研究者とのディスカッションを通じて授業の構成やポイントなどを考えるワークショップもあります。参加費はかかりません。
- （教育長）先生たちは忙しいので、今までの授業の他にこのようなことをする余裕はないので、この部分の授業をここにあてようなどカリキュラムマネジメントをする必要があると思います。このような面白い企画などを学校に紹介していけたらいいと思います。
- （原委員）小中連携などで、そのようなことは出来ないでしょうか。
- （指導班指導主事）小中一貫教育の事業づくり研究会は、これから代表者の方に作っていただいた資料を配ることが出来るようになると思います。
- （原委員）具体的に二宮では実現することが出来る場があるのですね。
- （指導班指導主事）学習指導要領の報告の中で、小学校と中学校でお互いが知るということが出来て来ているところです。
- （教育長）受験の為、知識の為の知識ではなく、キャリアにつながるような、生活につながるような学習を行っていくというのが、学習指導要領にも載せられています。知識の為の知識から社会と結びつく学習が必要とされてきています。学びづくりのやり方を頭において校内研究も行っていかなければいけないと思います。
- （吉田委員）給食センターの運営委員会がありましたので、報告させていただきます。PTAから報告があがっていましたが、色々要望した内容を検討していただけたということが大事だと思いました。教育委員会と保護者の接点は運営委員会しかないと思いますので、保護者視点で見る

とこういう風を感じているのだと知ること大事だと思います。出来ないことは出来ないで構わないと思いますので、運営委員会についてホームページにもう少し載せていただくなど、出来るところから、対応していただけるといいと思います。

- （教育総務課長）いただいたご意見は貴重なものですので、ホームページに運営委員会の資料を載せることなどは可能です。また、既に行っていることも理解して頂けていない部分もあると思いますので、きちんと丁寧に説明をしていくように心がけていきたいと思っています。
- （吉田委員）毎年PTAの役員は変わってしまいますので、なかなか伝わらないことも多いと思います。学校によって、給食の扱いも違うと思います。PTAにも、情報共有してほしいということもお願いするといいと思います。
- （教育長）保護者に給食以外の食事についても、栄養バランスの良い食事を定期的に食べさせてほしいということについても、啓発していけたらいいと思っています。そのようなことを、コミュニティ・スクールでも活動していきたいと思っています。
- （吉田委員）給食は、献立表の後ろにとってもいいことが書いてあり、献立の一部が夕食のメニューになることもありますので、今やっているいいことをコツコツ続けていただけるといいと思います。
- （原委員）以前から二宮の給食は、バランスよく作られていて、とてもおいしいと思っていました。ホームページなどで、レシピを公開していただけると、PRにもなっていると思います。
- （教育長）食育は基本で大事なものですので、給食をきっかけとして、生活をより良いものにしていくことが重要だと思います。

— 付議事項 —

なし

— 報告・協議事項—

（1）平成30年度二宮町教育委員会基本方針（素案）について

（教育総務課長・生涯学習課長）平成30年度二宮町教育委員会基本方針（素案）について資料に基づいて説明。

（2）その他

— 次回教育委員会予定 —

（教育総務班長）平成30年度次回教育委員会議の日程、出席を要する主な行事について資料に基づいて説明。

— 閉会宣言 —

(教育長) 平成29年度1月定例教育委員会議を終了いたします。

16時30分 終了